

令和2年度横浜市病院協会事業報告

1 救急医療対策(公益事業)

(1) 二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、引き続き当協会及び会員病院は救急医療の提供に積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが11病院、合わせて22病院、輪番参加病院数は30病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番応需(内科・外科・小児科)の必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

本年度は、いずれも前年度を下回り、特に救急車以外での来院(ウォークイン)が大きく減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる。

(年度計)

拠点病院A : 90,311人 (前年度 130,089人)

拠点病院B : 55,030人 (前年度 82,150人)

輪番病院 : 4,967人 (前年度 7,158人)

小児救急拠点病院 : 11,821人 (前年度 29,467人)

(2) 心疾患、脳血管疾患、産科、整形外科等の救急医療に取り組んだ。

(3) 神奈川県高齢者救急連絡調整会議に参画し、病院救急車を活用した救急搬送モデル事業実施事業者の選定に参画した。

(4) ラグビーワールドカップ2019東京2020オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会医療救護検討部会において、新型コロナウイルス感染症下における状況を共有した。

2 災害時医療対策(公益事業)

(1) 横浜市災害医療連絡会議に参画し、災害時医療に対応する連携体制の確保を図った。

(2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。

(3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に取り組んだ。

- (4) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、Y-CERT(横浜市医療調整本部)に参画するとともに会員への調査や情報発信、行政への要望を行った。Y-CERTへの参画は、横浜市への協力と同時に最新の状況把握に基づく病院協会としての対応に寄与した。

3 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。

[ホームページ運用状況]

ホームページアクセス数：107,215件(293件/日)

時間外診療受付病院アクセス数：29,951件(73件/日)

- (2) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

4 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) 医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。

- (2) 横浜市在宅療養連携推進協議会に参画し、病院と在宅療養の連携強化策の検討を行った。

- (3) 地域医療検討会(市内7方面別)を開催し、各医療機関間の情報共有や意見交換を行った。

開催回数：14回 参加医療機関：延270機関

5 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 横浜市予算編成についての要望書を提出した。

- (2) 横浜市保健医療協議会に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。

- (3) 横浜地域地域医療構想調整会議に参加し、市内7方面での地域医療検討会の状況を報告し、それらを踏まえて協会としての意見の反映に努めた。

- (4) 横浜市医療安全推進協議会に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。

- (5) 横浜市の各種委員会(認知症施策検討会、人生の最終段階の医療等に関する検討会、医療的ケア児・者等支援検討委員会等)に参画し、施策の検討等を行った。

- (6) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、勤務医事業部会において議論に加わるとともに、各夜間急病センター

運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。
(7) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。

なお、昨年開始した中国の内モンゴル自治区病院協会との提携交流については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響より休止した。

6 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の講演会等をオンラインにより開催した。

(1) 第22回学術講演会を開催した。

配信日：・ライブ配信

令和3年2月2日(火) 18時30分～20時

・オンデマンド配信

令和3年2月3日(水)～2月9日(火)

テーマ：「医療機関における働き方改革の最新動向」

講師：ハイズ株式会社 代表取締役社長 斐 英洙 氏

参加者：59名

(2) 横浜市、横浜市医師会等との共催による「医療安全研修会」を2回(オンライン)実施した。

(3) 横浜市看護職員認知症対応力向上研修(オンライン)を実施した。

研修修了者：43人

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般市民向けの市民講演会は中止した。

7 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

(1) 看護専門学校における奨学生等受け入れ希望病院による説明会については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、開催を中止した。

なお、学生に対し奨学金制度、受け入れ希望病院等の情報提供を行った。

8 看護専門学校の運営

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4、5月は休校し、臨地実習については、前期は学内実習で対応し、後期は関係病院・施設のご協力を得て実施することができた。令和2年度卒業生の国家試験受験結果の合格率は98.5%であった。

また、令和3年度入学者の特別入学試験や学校説明会等は、例年の日程から遅らせるなどして開催したが、個別説明の実施やオンライン説明会の開催などで、一般入学試験Ⅱ期を実施せずに、定員に達した。

(1) 学生数

学 生	在籍者数 (令和2年4月1日)	退学者数	原級 留置者数	進級又は卒業生 (令和3年3月末)
1 学年	83人(10人)	2人(0人)	6人(2人)	75人(8人)
2 学年	85人(9人)	3人(1人)	2人(0人)	80人(8人)
3 学年	66人(4人)	0人(0人)	0人(0人)	卒業生 66人(4人)
総 数	234人(23人)	5人(1人)	8人(2人)	221人(20人)

() 内は内数で男性数

(2) 令和3年度入学試験結果

受験区分		試験日	受験者	合格者	入学者	
特別 入試	高校生	指定校	令和2年11月7日	29人	29人	29人
		公募校	令和2年11月7日	33人	16人	16人
	学 士		令和2年11月7日	2人	1人	1人
	社会人		令和2年11月7日	62人	11人	11人
一般 入試	第Ⅰ期		令和2年12月5日	51人	25人	24人
	第Ⅱ期		令和3年2月6日	- 人	- 人	- 人
計			177人	82人	81人	

※特別入試、一般入試Ⅰ期で定員に達したため、一般入試Ⅱ期は実施せず。

(3) 第24回卒業生(令和3年3月卒業)の就職状況

病院への就職		進 学	その他	卒業生合計
横浜市内	横浜市外			
61人	4人	0人	1人	66人

(4) 第110回国家試験受験結果

(試験日:令和3年2月14日 合格発表:同年3月26日)

区 分	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
新卒者	66人	65人	98.5%	95.4%
既卒者	4人	4人	100%	44.4%
合計	70人	69人	98.6%	90.4%

(5) 主な学校行事

年月日	行事名	人数
令和2年6月1日(月)	第26回入学式	1年生 80人
令和2年7月31日(金)	第1回オンライン学校説明会	参加者 19人
8月8日(土)	第1回学校説明会・オープンキャンパス	参加者 52人
8月8日(土)	第2回学校説明会・オープンキャンパス	参加者 61人
8月29日(土)	第3回学校説明会	参加者 33人
9月11日(金)	第2回オンライン学校説明会	参加者 27人
9月26日(土)	第4回学校説明会	参加者 41人
10月16日(金)	第3回オンライン学校説明会	参加者 27人
10月31日(土)	第5回学校説明会	参加者 23人
11月7日(土)	令和3年度入学・特別入学試験	受験者126人
12月5日(土)	令和3年度入学・一般入学試験I期	受験者 51人
令和3年2月14日(日)	第110回看護師国家試験	受験者 64人
3月1日(月)	第24回卒業式	3年生 66人

(6) 学生募集の取組

ア 推薦入試指定校22校及び一般校4校の高校訪問を行った。

- イ 受験志望者やその保護者が学校説明会に参加しやすいよう、土曜日に説明会を5回開催し、参加者は210人だった。
- ウ 平日を中心に個別の学校説明を実施し、参加者は70名だった。
- エ 民間事業者が主催する進路ガイダンスに7回参加し、高等学校等に出向き学校説明を行った。
- オ オンラインによる学校説明会を3回行った。
- カ 本校ホームページによる学校情報や受験案内の発信を行った。
- キ 高等教育の修学支援新制度の対象校となった。

(7) 看護師国家試験対策

- ア 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した(3年生10回・2年生1回・1年生1回・計12回)。
- イ 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を7日間実施した。
- ウ 学力強化が必要な学生を対象に学内教員ゼミを実施するほか、民間の予備校講座の活用を図った。
- エ 専任教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

(8) 会議・委員会・研修会

- ア 学校運営会議を13回開催した。そのうち外部委員を入れた会議を2回実施(うち1回は書面会議)した。
- イ 学校関係者評価委員会(外部委員)を2回開催した。
- ウ 学校評価委員会を7回開催した。
- エ 職員会議を11回開催した。
- オ 入試委員会を10回開催した。
- カ 防火・防災対策委員会を3回開催した。
- キ その他にカリキュラム委員会、実習委員会、学生指導委員会を開催した。

9 収益事業(収益事業等)

- (1) 看護職者賠償保険の取りまとめを行った。
60 病院：延 3,121 名
なお、保険料の軽減が図れることから、神奈川県病院協会に一本化した。(令和 3 年 1 月から)
- (2) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。
- (3) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。
- (4) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。

10 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

- (1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。
- (2) 会員の親睦に係る懇親会、新年祝賀会については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、開催を中止した。
- (3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。
- (4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し支援を行った。
(1 病院)
- (5) 協会報第 65 号、第 66 号を発行した。
また、協会報トピックス WEB 版を開催した。
配信期間：令和 3 年 3 月 6 日(土)～令和 3 年 3 月 19 日(金)
テーマ：「新型コロナウイルス感染 6 か月後における抗ウイルス抗体保有および中和抗体保有調査に関する中間報告」
講師：横浜市立大学医学部 臨床統計学教室主任教授
山中 竹春 氏
参加者：74 名
- (6) 協会ニュース速報を 12 回 (No.262～No.273) 発行した。

11 管理運営その他(法人)

- (1) 会員数 (令和 3 年 3 月 31 日現在)：105 病院
- (2) 第 71 回定時総会を令和 2 年 6 月 24 日に開催した。
総会においては、令和元年度の事業報告・決算が審議され承認された。また、役員の変更を行った。
- (3) 理事会を 12 回開催した。
- (4) 常任理事会を 11 回開催した。
- (5) 部会等の開催
救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。